

社会福祉法人誠心会「しらかば子どもの家・ベビーホーム」

後援会便り第6号 あしたば

後援会事務局

〒239-0826 横須賀市長瀬 3-3-1

TEL : 046-874-5900・5901

FAX : 046-874-5902

2014年3月10日発行 会長 益子 健一

URL : <http://www.kodomo-srkb.e-yokosuka.jp/index.htm>

E-Mail : kodomo-srkb@e-yokosuka.jp

しらかばベビーホーム「定員：19名」の一日

6:00～ 起床



朝起きて、着替え、検温し、朝ご飯まで、ビデオなど見て、過ごします。

7:15～ 朝食



朝ご飯です。幼児と一緒に乳児もミルクを飲んでいきます。

児童福祉法 第三十七条

乳児院は、乳児（保健上、安定した生活環境の確保その他の理由により特に必要のある場合には、幼児を含む。）を入院させて、これを養育し、あわせて退院した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設とする。

9:00～ おやつ



午前のおやつです。夜勤者と日直責任者と引き継ぎをします。



寄り道

引き継ぎは「一日の生活記録」で行います。

このシートは氏名：時間に沿って、睡眠・排泄・哺乳量・水分量・検温・観察事項等を記録します。医学的処置・身体状況・備考（注意事項、面会予定など）なども記入されています。

シートは、夜勤者が作成し、毎日0時から24時までの記録をとります。

1853 ペリー代将率いるアメリカ海軍の艦船4隻が浦賀沖に来航し、翌年久里浜に上陸しました。近代日本の幕開けの地です。施設はその間にある歴史的な長瀬町にあります。

9:30～ 散歩



久里浜「ペリー公園」のブランコに乗っています。



浦賀「ボード公園」で遊んでいます。

11:30～ 昼食



12:00～ 昼寝

14:30～ おやつ

15:30～ 入浴

17:00～ 夕食

19:30～ 就寝

新生児から2歳まで19名の子ども達の笑い声、泣き声でいっぱいになっているのが、しらかばベビーホームです。午前、午後と天気の良い日は毎日外に遊びに行っています。

静かな時といえば、おやつとお昼寝の時ぐらいでしょうか。職員はいつも抱っこを求めてくる子供を両手に抱きかかえ、あっち、こっちと走り回っています。

特に雨の日は、室内に遊び場所がなく、どこでどうやって遊ぼうかと頭を悩ませます。

洗濯物も多いです。ほぼ一日中洗濯機、乾燥機が回っています。そのたくさんの洗濯物をパートの方々が、午後からいっせいにたたんで下さいます。たくさんある玩具も、一部はボランティアの方々が消毒拭きをして下さっています。

皆さんの温かい協力のもと、子ども達は毎日すくすくと元気に育っています。「小林 容子」

しらかばベビーホームのみなさん

2014(平成26)年2月1日



施設長
濱田 徹



副施設長
杉本 俊一



家庭支援専門相談員
斎藤 道子



主任保育士
小林 容子

心理士
芝 太郎



きなこ

副主任保育士
飯沼 孝子



看護師

あんこ

副主任保育士
田中 恵美



「敬称略」

事務主任
宮村 友紀



管理栄養士
沓木 祐子



事務全般、運転、設備・機器
の保全・補修等を行います。



掃除、洗濯、服の仕分けを、てきぱきとしてくれます。

ベビーホーム（乳児院：定員 19 人）と
子どもの家（児童養護施設：定員 40 人）
に、栄養バランスの良い、美味しい食事
とおやつを作ってくれます。



宿直
夜の安全を護ってくれます。

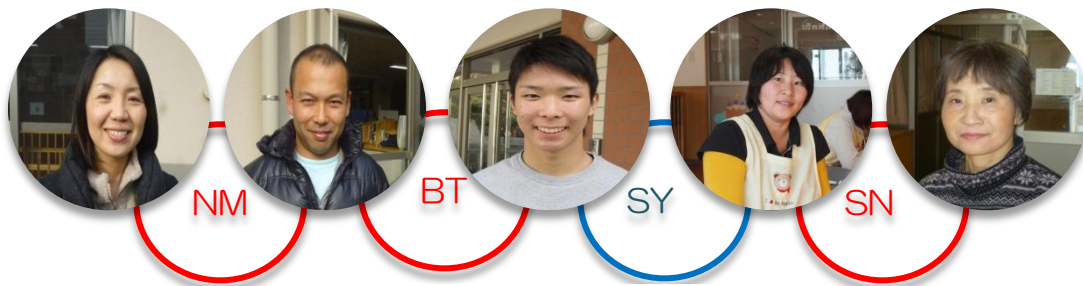


裏庭と砂場



散歩車の出入口

ボランティアの皆さん



おもちゃの清掃、繕いもの、子どものお遊び相手をしてくれます。

「敬称略」

ひな祭り



職員の手作りおひなさまで、お祝いをしました。
 子どもごとに名前を入れた紙に、手形・足形をつけて、絵も描きました。
 これを子どもがおひなさまに貼って、十二単の柄にしました。



砂遊び



水遊び



花火大会

お食い初め



「食べ物に一生困らないようにとの願い」子どもと職員、みんな見守る中で行います。
 元気に育ててください。



入学お祝い会のご案内

日付：平成 26 年 4 月 5 日（土）
 時間：午前 10 時～10 時 30 分
 場所：しらかば子どもの家・ベビーホーム 食堂

10 人が進学します。子どもの未来を祝し、大勢の方に、ご参加をお願いする次第です。

	男	女	合計
高等学校	2 人	1 人	3 人
中学校	2 人		2 人
小学校	2 人	3 人	5 人
合計			10 人

編集後記

しらかばベビーホーム（乳児院）の 1 日を簡単に紹介しました。乳児院は長くいる子どもでも、2 年数か月で退所します。その短い期間ですが、多数の人（2, 3 ページ掲載）が、健やかに育つように、日夜支援しています。
 砂場、横の山と下の崖に「あしたば」が、陽射しを受けて、新芽を出しています。乳児・幼児がこのように、元気に育っていくことを望んでいます。

—編集担当 S—